

# 採決強行させぬ世論を

## 高校生が市議に質問

### シンポ「戦場に行くの？」

愛知・豊橋

愛知県豊橋市の桜丘高校で、「なぜ今、安保法案なの？教えて、市議員さん」と題したシンポジウム(12日)が学園祭のプレ企画として開かれまし



市議(正面)に質問する生徒ら＝12日、愛知県豊橋市の桜丘高校内

真剣なまなざしを向けていました。生徒会は事前に生徒1712人(桜丘中含む)からアンケートをとりました。集団的自衛権行使に反対と答えたのは77・2%、説明不十分と答えたのは72・9%でした。

司会を務めた副会長の山本幸輝さん(3年)は「法案で日本がどうよくなるのか市議さんに教えてほしい」と呼びかけました。

自民の近田明久氏と公明の鈴木義則氏は国際情勢の変化から抑止力を増すために必要と主張。司会が自衛隊のリスクが増すのかと質問すると、近田氏は「行動範囲が広がるといふ点を見れば高まる」と認めざるをえず、鈴木氏も訓練でリスクを最小限化するなどしました。

共産党の斎藤ひろむ氏は、これまで戦争をしかけてきたアメリカの歴史を紹介し、自衛隊が戦争に巻き込まれるリスクが高まること、アメリカの相手国に敵視される危険を指摘しました。

大戦前の状況に似てきている。憲法9条がスッパになってきたけれどこれからは...」「戦場に行くことになるのか」など切実な質問が出され、それぞれ議員が答え、予定時間を超過しました。

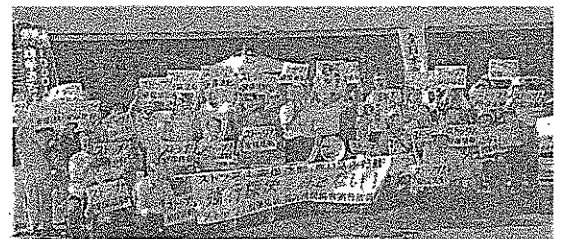
一方、質問できなかった生徒もおり、企画顧問の高橋勇雄教諭は「不安は解決されていない。また機会をもちたい」と話しました。

生徒会長の高橋飛翔(つばさ)さん(3年)は「戦後70年、先人が築いてきた歴史をなぜ変えるのかと思っていた。来年の選挙に向けて考えていきたい」。男子生徒(高一)は「よくわからないので参加した。もっと勉強していきたい」と話していました。

福井市

## 抗議の座り込み開始

### 横断幕・プラカード手に



アピールする参加者ら＝14日、福井市

「戦争法案の強行採決は絶対許さない」。ストップ安保法制福井県実行委員会の呼びかけで抗議の座り込み行動が14日、JR福井駅東口広場で始まりました。18日まで毎日午後3時～6時まで実施します。

この日は約50人が横断幕やプラカードを手にアピール。9条の会ふくいの屋敷祐美事務局長は、「戦後70年間

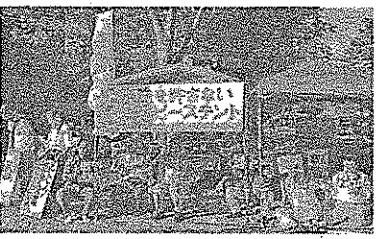
の民主主義を守っていくのが、この一週間」に集約されている。県平和センターの宮下正一事務局長は「絶対廃案に追い込む運動にしていきたい」と訴えました。日本共産党の佐藤正雄県議は「いま国民が追い詰めている。力を合わせて廃案に追い込もう」と呼びかけました。

13日に大阪でSEA(LDS・シールズ)の座り込み行動に参加した、白山市の八田好

行動に参加してきたという男子学生が飛び入りでギターを弾いて歌い、「僕は(戦争法案に)反対です」と話しました。

石川県労働組合総連合、平和運動センターなど8団体は14日、金沢市の石川四高記念公園で戦争法案に反対する抗議の座り込み「ピーステント」を開始しました。18日まで行われます。

座り込み行動に参加した、白山市の八田好



戦争法案に反対する座り込み抗議行動＝14日、金沢市

# 戦争法案に抗議・危ぐ・不安

夕方には、8団体呼びかけの戦争法案に反対する緊急集会とデモ行進が行われ、800人が参加しました。日本共産党の佐藤正幸県議も参加しました。